

4年間の学びのステップ

教養教育については
P.94、95へ

<h2>1年次</h2> <p>生命科学の原理を学び 実験の基礎手法を 身につけます</p>	<h2>2年次</h2> <p>生命科学分野の 科目を学び、 実験にも取り組みます</p>	<h2>3年次</h2> <p>研究室に所属し 社会で求められる理論や 技術を学びます</p>	<h2>4年次</h2> <p>修得した知識と 技術を駆使して 卒業研究に挑みます</p>
生命科学の基礎となる生物学や、理系の基礎体力となる数学・化学を学びます。さらに演習を通して実験手法やレポート作成などを学修。2年次以降、本格的に実験に臨むための基盤を養います。	生理学、ウイルス学、環境構造学など基礎から発展した内容を学びます。本格的な実験も行い、11名の教員が交代で担当する生命科学基礎実験では、教員と議論をしながら最先端の研究に触れ、専門的な知識を吸収します。	生命科学の知見をいかに社会にいかすかといった視点から学びを深めます。医薬品生産や生態系保全など社会的関心の高い分野を扱い、先端的な理論・技術を学修。研究室で関心ある分野を探究します。	卒業研究を通して、新たな技術や理論の開発に取り組みます。計画を立て実験を重ねる一方で、ディスカッションやプレゼンテーション、研究報告の手法なども学修。技術者としての総合力を高めます。

科目	1セメスター		2セメスター		3セメスター		4セメスター		5セメスター 研究室決定		6セメスター		7セメスター		8セメスター			
	専門基礎科目	■生物学1 数学基礎 化学基礎		■生物学2 ■生命科学基礎演習		微分積分 線形代数 機器分析学 量子化学 基礎統計学 ※3・4年次まで学びます												
専門基幹科目	生物物理学1 		生化学1 基礎生態学 分子生物学1 微生物学		生化学2 分子生物学2 遺伝子工学1 細胞生物学 ■生命科学のための倫理・法律 ■生命科学基礎実験1		生物物理学2 遺伝子工学2 ■生命科学基礎実験2										<div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 2px; font-size: small;">注目の研究!</div> <ul style="list-style-type: none"> ウイルス感染症の原因となるウイルス遺伝子の制御に関する研究 がんの治療法に関する研究 iPS細胞に関する研究 絶滅危惧種の生息場保全の研究、海浜植物の生息場再生の研究 RNA医薬及びペプチド医薬に関する研究 応用微生物学や天然物利用に関する研究 他 	
専門展開科目			環境構造学 ゲノム科学		動物生理学1 植物生理学1 分子進化学 ゲノム生態学 公衆衛生学				ウイルス学 分子免疫学 生体分子工学1 動物生理学2 保全生物学 微生物生態学 構造生物学 ■生命科学応用実験		植物生理学2 細胞遺伝学 生体分子工学2 生物多様性科学 微生物工学 医薬品生産技術 生態系保全技術 生命情報学 ■卒業研究準備実験				■卒業研究			

(■:必修科目 / 無印:選択科目)※カリキュラムは一部変更となる場合があります。